



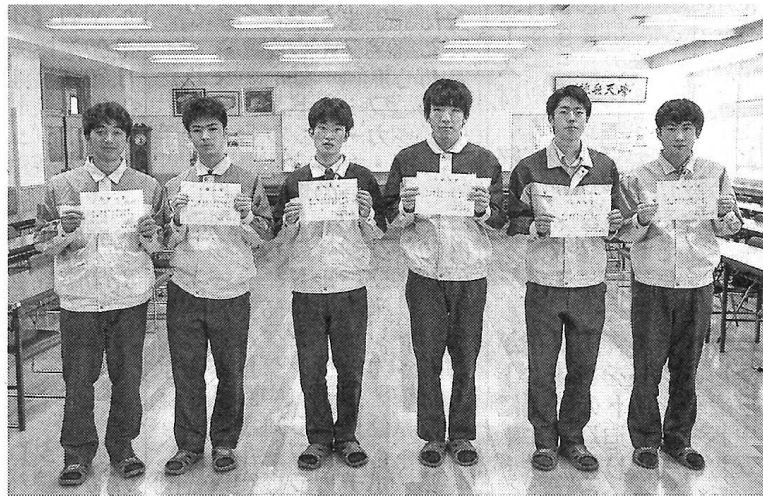
第一種電気工事士に 6人が合格

2024年(令和6年)2月1日木曜日

南信州新聞

難関資格に6人合格

OIDE 長姫高 電気工事士として地域のために



第一種電気工事士の資格を取得した6人

飯田OIDE長姫高校の生徒6人が国家資格の第一種電気工事士試験に合格し、1月30日、松原均校長に報告した。合格したのは、田中朔斗さん(電気電

子工学科3年)、小室快斗さん(電子機械工学科3年)、西永悠希さん(同2年)、山内心太さん(電気電子工学科2年)、高木稜さん(同1年)、野口厚気さん(同1年)。

試験勉強は昨年夏ごろから本格的にスタートした。学校で仲間とともに筆記試験対策をし、各家庭でも猛勉強して10月の試験をクリアした。

「この資格を世の中のために有効に活用してほしい。また、さらなるチャレンジにも期待している」と激励した。第一種電気工事士は、高電圧設備の工事に従事するために必要な国家資格で、試験は年1回のみ行われる。

月間の集中特訓を行って技術を身につけ、12月の試験に合格した。報告会では田中さんが「今後はこの資格を生かして地域のために働きたい」と6人を代表して決意を語った。資格を取得した3年生2人は、春から地元企業への就職が決まっている。松原校長は「この資格を世の中のために有効に活用してほしい。また、さらなるチャレンジにも期待している」と激励した。

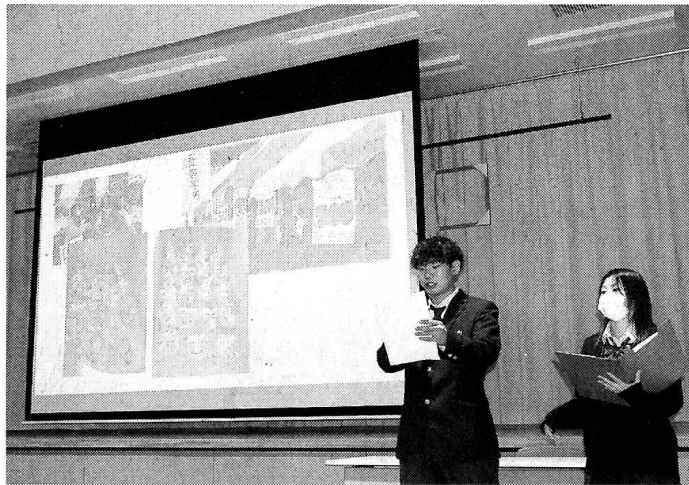
地域と教育の関わりは

上郷フォーラム 住民が生徒らの発表聞く

飯田市上郷公民館は25日、本年度の「上郷地区地域づくりフォーラム」を同館で開いた。これからの人づくり・地域づくり」をテーマとし、小中高生が地域をフィールドにした探究学習の成果を発表。住民ら約100人が参加し、教育と地域の関わり方を考

えた。フォーラムは住民と地域課題を共有する目的で毎年開き、31回目。今回は学校で導入が進んでいる地域密着型の探究学習を住民に知ってもらうとテーマに据えた。上郷小学校と高陵中学校、飯田OIDE長姫高校の児童生徒らがそれぞれ成果を発表した。このうち、上郷地区をフィールドに地域人教育に取り組んだOIDE長姫高校の商業科3年7人は1年間の実践成果を報告。地区のイベントでスタンプリュー大会や野底深山湧水の「利き水大会」を企画したり、店舗と

協力してパンを開発したりと地区の魅力発信に取り組んできた。発表ではスクリーンに画像を映しながら



地域学習の成果を発表する高校生

ら活動を紹介。メンバーの一人、松岡大晟さん(18)は「活動を通して人と人とのつながりの大切さを知ることができた。私たちも将来、上郷で出会った方々たちのように誰とでも笑顔で一緒に活動できる大人になりたい」と感想を語った。山浦貞一公民館長は「近年は子どもたちが地域に出る教育に変わってきている。地域の皆さんに今の教育を知ってもらい、地域密着の教育に住民がどのように貢献できるかを考えるきっかけになったら」と話していた。

上郷小は地区の探究学習に取り組んだ2年生が、高陵中は個人探究学習で地域をテーマにした生徒2人がそれぞれ成果

商業科3年生地域人教育の活動成果を上郷フォーラムで発表

掲載記事提供: (株)南信州新聞社